

ダニエル・カールの

消防団 たずねあるき

第2回 奈良県奈良市

はじめに

今回、たずねたのは奈良市です。

5月の中旬に新幹線で東京から京都に向かいました。そこから近鉄線に乗り継ぎ奈良市に着きました。

奈良市については、いまさら申し上げるまでもなく、数々の世界遺産や歴史的建造物があることで有名ですね。東大寺、春日大社、薬師寺、唐招提寺などなど、枚挙に暇がありません。また、シルクロードの東側の終着点とも言われており、数々の仏像には古い時代の大陸からの流れが感じられます。

それから、ご存知のとおり修学旅行のメッカで、この日も、たくさんの修学旅行の学生を見かけました。

地理的には、奈良県の北部に位置し、面積は、276.84km²、約37万人の人々が暮らしています。平成17年4月に月ヶ瀬村、都祁村が編入され、現在の姿になったということです。

実は、オラが最初に日本に来たときホームステイをしたのが奈良市と同じ奈良県にある五條

市というところで、その頃には何度か奈良市に足を運んだものでした。そんなこともあって、奈良市は大好きな場所のひとつです。

その奈良市の消防団員の皆さんにお会いできるということで、とても楽しみにしていました。

奈良市の消防

奈良市の消防組織について、お話しいたします。

常備消防は、1消防局、5消防署で、消防職員379人からなっています。

消防団は、1本部、4方面隊、22分団で、消防団員数994人（女性団員39人を含む）から組織されているそうです。

現在、ほとんどの消防団で条例定数の確保が難しいとされている中、奈良市は平成21年4月、女性消防団員の採用を機に条例定数を1,000人に増やし、実員も994人とほぼ定数を満たしています。なかなか規模の大きい消防団ですね。

消防団たずねあるき



カラーガード隊（左奥が奈良市消防音楽隊）

広報指導分団

今回は、女性消防団員により構成される分団「広報指導分団」の結団式に合わせてお邪魔いたしました。女性消防団員自体は平成21年4月1日付けで採用されているようで、もうすでに皆さんご活躍中とのことですが、改めて結団式が行われたとのことでした。

入場、整列から始まって、市長から分団長へ分団旗が授与されました。その後、市長のお話や消防庁長官の祝辞、消防団長のお話がありました。

皆さんの凛々しい姿とキビキビとした動きには、すっかり見とれてしまいました。また、女性らしさを前面に出してカラーガード隊としての演技や歌なども披露してくれました。これには、奈良市消防音楽隊の皆さんの伴奏が加わり、なかなか華やかなものでした。式の司会も女性消防団員が担当していて、皆さん、まさに大活躍でした。

会場には女性消防団員のご家族も来ておられ

ました。お母さん、奥さん、あるいはお嬢さんの勇姿を目の当たりにして、見る目が変わったかもしれませんね。

まさに『強く、やさしく』これぞ女性消防団員でしょう！

結団式は、盛会のうちに終了しました。

場所を移して、今度は消防団長さんをはじめ、奈良市の消防団員さんたちにお話をうかがうことにします。

ダニエル 奈良市はいつ来てもいい所ですね。

黒団長 ありがとうございます。ご存知の通り歴史の古い町ですから外国人の観光客の方もたくさんいらっしゃいます。今日はあいにくの雨ですが…

ダニエル それもまたいいですね。なんかしんみりとして、古都の雰囲気があります。

黒団長 ダニエルさんはかつて奈良に住んでおられたそうですね。

消防団たずねあるき

ダニエル はい、初めて日本に来た時のことです。交換留学生として奈良県五條市でホームステイをさせていただいて、1年間、智辯学園に通っていました。

黒団長 そうですか。それで日本語が上手なのですね。

ダニエル その後も大学生になってから大阪の関西外語大学に来ました。それから佐渡で文弥人形（ぶんやにんぎょう）の人形づかいの方に弟子入りしたりしました。

そして大学を卒業してから文部省の英語指導主事助手として山形に来ました。どういうわけか行く先々全部方言が強いところで…（笑）

黒団長 なるほど、確かにそうですね。でも、その経験を生かして、現在は山形弁研究者としてご活躍なわけですね。

ダニエル おかげさまでなんとかやっています。

奈良市の消防団

言わずと知れた古都の奈良、数々の文化財があります。その古都を守っている奈良市消防団についてお話をうかがってみます。

ダニエル 奈良市の消防団について教えてください。

黒団長 定員が1,000人で994名の実員がおりまして、1本部4方面隊22分団の体制です。その中に女性消防団員が広報指導分団ということで39名います。これは、平成21年4月1日にスタートしました。

ダニエル 奈良市の消防団は、主にどんな活動をしているのですか。

黒団長 災害時の活動としては、火災現

場での消火活動、再燃防止の監視、避難誘導、警戒区域の設定など常備消防隊と協力した活動をしています。

平常時の活動としては、災害に備えた訓練はもちろんのこと、地域の皆さんに対する訓練指導、災害危険箇所の把握や歳末警戒などの活動をしています。

ダニエル 今日、結団式が行われた女性消防団員による広報指導分団について教えてください。

黒団長 「防災は男の仕事」という固定観念を取り除き、火災予防や防火思想の普及活動などで女性ならではのソフトな対応をすることで、市民の防災意識をさらに高めることが期待できることと消防団活動の新たな展開が消防団の活性化につながると考え広報指導分団を結団しました。

ダニエル 広報指導分団ができるまでの経緯を教えてください。

黒団長 平成19年12月に市の全消防団員に対して意識調査を行いました。その調査の結果を受け、平成20年4月に「奈良市消防団活性化対策検討委員会」を設置し、消防団の活性化について検討しました。この委員会には消防団員、女性防災クラブ経験者、保育士、有識者など18名が委員として参加しました。

この委員会で検討した結果、女性消防団員採用の方針を決定し、市長をはじめとする市の幹部で構成される「経営会議」に提案しました。

その後、女性消防団採用のために必要な条例改正や議会の承認を経て、平成21年1月から女性消防団員の募集を開始しました。

募集に当たっては、市の広報紙やホームページを活用しました。また、1月8日に行われた出初式の会場で、消防職員と消防団員が「消防



左から黒団長、ダニエル、左2列目から梅本副分団長、安田分団長、古川部長、3列目横田分団長

団に女性の力を借りたい」という趣旨のチラシを配り、説明用のブースを設置して質問を受け付けるなどいろいろな活動をしました。

当初、20名くらいの応募があればと思っていたのですが、46名もの方に応募していただき、女性の防災に対する意識の高さに驚きました。

ダニエル その中から39名の女性消防団員をどのようにして選考されたのですか。

黒団長 書類選考と面接を経て採用しました。面接には、消防局長、総務課長、消防音楽隊の関係者、それと私が出席しました。

女性消防団員を採用するまでにはいろいろなご苦労があったのですね。そして、今後の女性消防団員の活躍が期待されますね。

ここで他の消防団員の方にもお話をうかがいましょう。

ダニエル 消防団に入団されたきっかけを教えてください。

安田分団長 平成12年に自宅の裏の川があふれて床上浸水してしまったことがありました。その時、真っ先に駆けつけてくれたのが消防団でした。水が引いてからも後片づけを手伝いに来ていただいたりして、それを機会に消防団と深いつながりができました。

私は専業主婦ですが、もともと女性防災クラブのメンバーでもありまして、先ほど団長から申し上げました「奈良市消防団活性化対策検討委員会」で委員を務めていた経緯もあり、入団することにしました。

ダニエル そちらの方はいかがですか。

梅本副分団長 私の場合は、安田分団長と古くからの知り合いで、安田分団長から女性消防団員を募集していると聞きました。

消防団たずねあるき

手話のボランティアを育成していた経験がありまして、消防団もボランティア的な組織ですから、やってみようと思いました。

ダニエル 先ほど結団式で司会をされましたよね。なかなか見事な司会振りでしたけれども…

梅本副分団長 私の本業は司会者なのです。

ダニエル そうだったんですか！どうりで上手いわけだ。

安田分団長 古川部長は元歌手ですよ。

ダニエル そうなんですか！

古川部長 はい、でも今は保育園の副園長をしています。

ダニエル それは見事な転身ですね。そして、さらに消防団という新しい世界へ踏み込まれたのはどんなきっかけからですか。

古川部長 私の勤務している保育園では、消防署の方に来ていただいて、子供たちに防災の大切さを教えていただいています。そんな中で自分も地域の防災に役立ちたいと思っていたときに、市の広報紙で女性消防団員の募集を知り応募しました。

ダニエル いろいろな職業の方がいらっしゃるのだから「消防団は人材の宝庫だ」という話を聞いたことがあります。司会者や歌手というのはなかなか得がたい人材ですね。

黒団長 頼もしく思っています。

ダニエル そちらの方はいかがですか。

横田分団長 はい、若い頃、まだ消防団がどんなものかよく分からないうちに（笑）、周囲に薦められて入団しました。

黒団長 実は、横田分団長のお嬢さんは今18歳で、最年少の女性消防団員なのです。

ダニエル そうなんですか。親子で消防団員ですか。オラも三代続いた消防一家で育ちま

したが、お父さんと娘さんが同時に消防団員というのは珍しいのではないのでしょうか。

やはり、お父さんの影響があったんですかね。

横田分団長 それは良く分かりません。ただ、小さい頃には、よく操法の訓練に連れて行きました。当時の娘に「消防団で何をやるの？」とたずねると「線が引いてあるところをホースを持って走るの。」と答えました。（笑）

最近、娘に言うことは「消防団員として適確な活動をするためには統制が取れた行動をすることが必要であり、そのためには規律というものが必要だ。」ということです。

ダニエル なるほど、確かにそうですね。ちなみに横田分団長のお仕事は…

横田分団長 大工をしています。

ダニエル 奈良ですから、やはり神社仏閣関係ののですか。

横田分団長 そうではありません。ただ、私は一級建築大工技能士という資格を持っておりまして、文化財の修繕などもしています。

ダニエル それはすごいですね、地域に根ざしていますね。娘さんにもお会いしたかったなあ。

まさしく人材ぞろいですね。これこそ消防団ならではのことでしょう。いろいろな人たちが防災というテーマで集い、いろいろな視点から防災を考えて、それがきっと消防団活動に活かされていることでしょう。

ダニエル 入団してみたいかがですか。

安田分団長 古い知人と再会することができるのが消防団のいい所のひとつですね。

例えば、横田分団長と私は同じ奈良市内でもかなり離れたところに住んでいるのですが、入団し

消防団たずねあるき



女性団員の整列

てみて共通の知人がいることが分かったりして…

横田分団長 そういうふれあいが消防団のすばらしいところですね。いろいろな関係で一体感がより深まります。災害現場では信頼関係がなければ一緒に作業はできません。

ダニエル なるほど、確かにそうですね。副分団長はいかがですか。

梅本副分団長 私は入団してみて女性消防団員のパワフルさに驚きました。私も日ごろからがんばっているつもりでいましたが、皆さんの「地域のためにがんばる」というパワーはすごいです。

ダニエル そうですか、それは頼もしいですね。

部長はいかがですか。

古川部長 これまで消防団の活動を見て、すごく厳しいところかと思っていましたが、普段はとてもアットホームな感じで、皆さんとても気さくな方ばかりで逆に驚きました。

ダニエル そうですか。

消防団というのは年齢も職業もいろいろな人がひとつの目的のために集まっていて、それぞれがわりと気楽に話をするができる面もあるようですが、こちらでもやはりそういういい雰囲気があるんですね。

今後の抱負を聞かせてください。

安田分団長 いろいろな能力を持った団員がいるので、分団長としてどれぐらいみんなが輝ける場所を作れるかということが自分のテーマです。

女性ならではのやわらかい雰囲気です。身近なところから消防を広報していきたいと思います。漫才でも歌でも人形劇でもいいでしょう。いろいろな力を持ったメンバーとともにいろいろな形で消防の広報活動をしていきたいと思っています。

ダニエル それは楽しみですね。

副分団長はいかがですか。

消防団たずねあるき

梅本副分団長 やはり、女性ならではの視点を大事にしていきたいと思います。例えば、災害に備える物資の中で、被災者に配る毛布にしても、茶色のものばかりではなく花柄のものも用意するとか、住民が避難する必要が生じた場合でも、避難所である程度落ち着いたら爪をきれいにするお手伝いをするとか、そういった視点があってもいいと思います。

ダニエル 確かに、男性ではなかなか思いつかないことですね。

部長はいかがですか。

古川部長 お年寄りやお子さんに消防を楽しく伝えていきたいです。

黒団長 それを大いに期待しています。子供に防火の大切さを伝えるにしても、高齢者宅に防火訪問をするにしても、制服を着たいかつい男性が行うよりも、女性がやわらかい雰囲気で行う方が受け入れられやすいと思います。火災報知器設置の推進にしてもそうでしょう。

だいぶ前のことになりますが、とても悲しいことがありました。私は石屋でして、その時墓地で働いていたのですが、付近で火災が発生しました。私は直ちに現場に駆けつけ、消火作業にあたりました。

そのお宅では、お母さんが近所におつかいに出ていた時に火が出て、結果的に家に残っていたお子さんが焼死してしまいました。そのお子さんの遺体を見て、助けられなかったことを強く後悔しました。

女性消防団員には各戸を回ってもらって、防火の重要性を訴えてもらいたいのです。火災による焼死者をゼロにするためには、そういった予防活動がとても重要です。

ダニエル そうですか。子供に対する防火意識の啓発の大事さを身を持って感じられたの

ですね。

黒団長 そうです。そういう意味からも広報指導分団としての女性消防団員の採用は、私の長年の夢だったのです。

団長からは、とても重たいお話をいただきました。長年消防団員として活動していると、そういうつらい経験をすることもあるのでしょうか。でも、そんなつらい経験をして、消防団員として活動し続けてこられたことには頭が下がります。

ダニエル こちらの消防団で特筆すべきことはありますか。

黒団長 若草山の山焼きですかね。

ダニエル それは、どんなものですか。

黒団長 1月の成人の日の前日の日曜日に行うもので、若草山という山で行われる野焼きです。これには、多くの消防団員が積極的に参加しています。

ダニエル いつごろから行われているのですか。

黒団長 1760年だという説がありますが、それ以前にも行われていたという記録があるとも言われています。正確には判らないようです。

ダニエル それはまた伝統がありますね。どんないわれがあるのですか。

黒団長 それも諸説ありまして、お寺どうしの境界の争いであるとか、妖怪を封じ込めるためだとか…

ダニエル その山焼きで消防団はどんな活動をするのですか。

黒団長 普段は消火活動が主な活動ですが、山焼きでは点火と消火の両方を消防団が担

消防団たずねあるき

当します。まず、ジェットシューターと呼ばれる総重量が10kgほどになるリュック型の水袋を背負います。そして、たいまつで点火して、山焼きが決して山火事にならないように細心の注意を払いながら勢いよく燃え上がるように炎を操ります。最後に消火作業にあたります。

ダニエル そんなに重いものを背負って山に登るんですか。

黒団長 そうです。

ダニエル すごいですね！そういう伝統ある行事で消防団が活躍しているということはもっともっと自慢していいと思います。

日本人の謙譲の美德というのはすばらしいこ

とですが、もっと自慢をしてもいいと思います。特に、奈良市などは歴史的なものがたくさんあるのですから…

黒団長 どうも奈良の県民性として控えめなところがありまして…、47都道府県中46番でいいというような…、最下位では逆に目立つので…（笑）

ダニエル もっと、もっと奈良市と奈良市の消防団を自慢してください。

黒団長 そうですね。もっと自慢しないと…（笑）

それでは消防団の自慢をさせてください。

消防団の魅力はいろいろありますが、なんと



ダニエル氏を囲んで

消防団たずねあるき

言っても一番の魅力は、助け合いの精神で地域の皆さんを応援できることだと思います。奈良市民の防災のリーダーとして奈良市の消防団員がいることを私は誇りに思っています。

さすがは団長です。最後はきっちりともまとめていただきました。話はつきませんがこの辺りで中締めです。

お国自慢

奈良にはたくさん世界遺産がありますが、それ以外にもすばらしいものがたくさんあります。個人的には、奈良全体が世界遺産だと言ってもいいと思います。ヨーロッパの石でできた世界遺産とは違う木でできた世界遺産です。そして、これは世界に誇れるものでしょう。

オラが奈良県五條市でホームステイをして間もない頃、通学路の横に古いお堂がありました。最初に見つけたとき「これは一体なんだろう?」と思ったのですが、その時は誰かに尋ねるにしても日本語が分かりません。半年ほど経ってようやく少し分かるようになったので、近くにいた方に尋ねたところ「これは昔この辺りにあったお寺の経堂です。」ということでした。次にどれくらい古い物なのか尋ねると西暦800年代にできたものだという事でした。それを聞いてびっくりしました。

オラが五條市にホームステイをしていたのは1977年です。母国のアメリカ合衆国はその前年の1976年に建国200年を迎えて「これで200年の

歴史ができた」と大変な盛り上がりでした。

ところが日本に来たら、住んでいる場所の近くに母国よりも6倍も古い建物が普通にあるのです。オラは「すごいなあ」と思い、毎日、通学の途中でそのお堂の前に来ると自転車を降りて拝んだものでした。でも地元の人はずっと見ているせいもあってか、あまりすごいとは思っていないようでした。また「もっと古くてもっと大きい法隆寺があるよ」という感じで、他の歴史的建造物と比較してしまうようでした。それはそれとして、身近なものをもっと自慢してもいいのではないのでしょうか。

黒団長にも申し上げましたが、皆さんもっともっと自慢をしてください。皆さんの地元にも、きっと自慢できるものがあるはずですよ。

日本には「謙譲の美德」というすばらしいものがありますが「お国自慢」という言葉もあり、これも郷土愛に基づくすばらしいものだと思います。

終わりに

今回たずねた奈良市は、たくさんの文化財があり、住民の安全とともにそれらを守る消防の責任は重大です。でも、1,000人近い消防団員がいることは、とても頼もしく、そのための大きな力となるでしょう。広報指導分団の女性消防団員の皆さんも、きっと、期待に応えてくれることでしょう。

広報指導分団を加え、ますます充実した組織となった奈良市消防団の皆さん、これからも伝統ある地域の防災のためにがんばってください!